

経営幹部のための データ・ドリブン講座

経営に必要不可欠なデータ・ドリブン思考を身につける

データ・ドリブン思考で得られる **3**つの力

POINT 1

意思決定力

データ・ドリブンなアプローチでは、客観的なデータを用いて経営判断を行います。これにより、思い込み（情報の偏りやバイアス）を排除し、より合理的な意思決定が可能になります。



POINT 2

予測能力

データ分析を通じて過去のパターンやトレンドを理解し、将来の動向を予測する能力が向上します。これにより、変化する市場環境に対して柔軟に対応し、競争力を維持することができます。



POINT 3

洞察力

データ分析を通じて市場や顧客のニーズを洞察する能力が向上します。これにより、新たなビジネス機会を発見し、成長戦略を展開することができます。



データ・ドリブン思考を身につけて
これからの時代を生き抜く力を手に入れましょう！

経営幹部のための

データ・ドリブン講座

経営に必要不可欠なデータ・ドリブン思考を身につける

データ・ドリブン講座 3つの特徴

特徴

1

データを元にした意思決定が可能となり
効果的な戦略を立案する力が身につく

「データを読む力」「データを説明する力」「データを扱う力」を習得することで、KKD（勘・経験・度胸）に頼ることなく、データから適切な戦略を立案することができます。市場での持続的な成長と競争力の維持に必要不可欠な能力です。

データを読む力



データを説明する力



データを扱う力



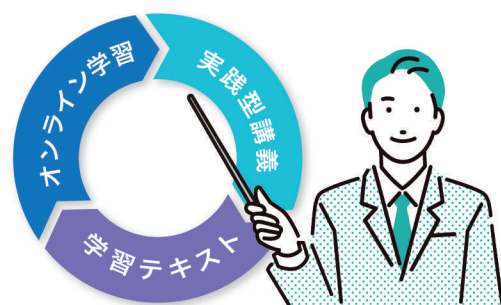
データ・ドリブン思考力

特徴

2

あなたの学習を成功に導くために
担当講師が最後まで並走

オンライン学習と講師との実践型講義のハイブリット方式を採用。迷うことなく学習を進められ、実務に活かせる知識とスキルを習得できます。講師が親身になって最後までサポートし、最高の学習体験を実現します。



特徴

3

経営幹部の意識が変わり、
行動に変革が起こり、組織が変わる

講座受講により、経営幹部の意識を根本的に変え、これまでの感覚や経験に頼らず、データに基づいた意思決定を行うように導きます。また、経営幹部のパフォーマンスが向上することにより、組織の競争力が強化され、持続的な成長を実現します。



中小企業を支援し続けたDX学校のノウハウが集約された講座です

DX学校® データ・ドリブン講座
体験動画公開中
今すぐ動画をチェック



スマートフォンで
QRコードを
読み取ってください。

カリキュラム(一覧)



第1章 経営幹部が変わらなければならない

- 時代の変化に合わせる
- デジタル時代の「読み・書き・ソロバン」が「データ・ドリブンな思考法」
- 「データ・ドリブンな思考法」が求められるようになった理由
- スポーツでもデータ活用はもうあたりまえ
- 経営幹部が変わらなければならない
- 本講座の目的
- 「データ・ドリブンな思考法」の基礎となる3つの力

第2章 必要な力1:データを読む力を身につける

- 公開されているデータを活用する
- 思い込みを排除してデータを見る
- データの特徴や傾向をつかむ
- 全体の傾向をつかむ。平均値だけではなく代表値(平均値、中央値、最頻値)
- 平均値を使ってはいけない例
- ヒストグラムを作る

第3章 必要な力2:データを説明する力を身につける

- データを可視化してみる
- データを比較してみる
- データを比較する視点
- データの関係性を読み解く 相関:2つのデータの関係性
- 相関関係と因果関係
- こんなグラフは気をつけよう

第4章 必要な力3:データを扱う力を身につける

- 自社内で使えるデータを集める
- 自社でデータを収集することを考える
- 社内データを統合するときは表記の揺れを修正する
- 社内になければ社外から調達する
- Excelのデータの扱い方・Excelのお作法
- その他のExcel便利機能・「マクロ」には注意
- はずれ値と異常値、欠損データ

第5章 ビジネス・パーソンに求められるさらに3つの力

- データから伸びしろをみつけ出し、施策を考える
- まず必要なデータを調達する
- データを分類する力
- データの分類「グループ化」が陥りがちなこと
- 「セグメント化」とは
- データから法則をみつける力
- データから予測する力
- 「仮説」→「検証」→「施策」を行う

第6章 AIを活用する

- 多くのことがAIのできる時代に入りました
- AIとは?
- 強いAIと弱いAI
- 特化型AIと汎用型AI
- AIを使いこなすのにも必要な「データ・ドリブンな思考法」

第7章 さらに勉強したい人のために

- Excel (またはGoogleスプレッドシート)を極める
- MOS(Microsoft Office Specialist)
- 日商PC検定(データ活用)
- Google Workspace認定資格
- データ・リテラシーを向上させる
- 書籍『教養としてのデータサイエンス』
- 書籍『図解まるわかり データサイエンスのしくみ』
- 統計検定
- データサイエンティスト検定™ リテラシーレベル

第8章 データ分析のシステムを構築する

- データ分析ツールを導入する
- 自社独自のデータ分析システムを構築する



受講イメージ

■ 1週間の流れ(例)

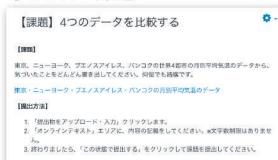
【月曜日】
テキスト学習



【火曜日】
教養動画視聴 週1回



【水曜日】
小テスト・課題



【金曜日】
講師対面講義 週1回



毎週繰り返し



DX学校

お問い合わせ先はこちら(受付:平日10:00~17:00)



0120-659-189



info@dx.school



https://dx.school

受講形態

テキスト

+

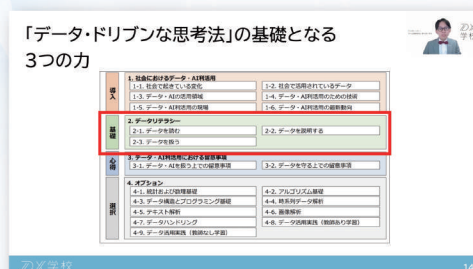
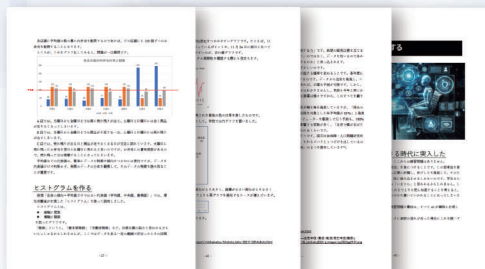
オンライン学習

+

講師対面 実践型講義

DX学校のテキストとオンライン学習システムで学び、講師と一緒に実践しながら進めます。

オンライン学習システムでは、DX学校校長梅崎健理による解説動画が見放題です。



講師紹介 DX学校 校長



株式会社ディグナ 代表取締役
梅崎 健理 (うめざき けんり)

平成5年生まれ 鹿児島県出身
慶應義塾大学大学院
政策・メディア研究科 研究員(非常勤)

「～なう(SNSで今何をしているかを表す言葉)」で「新語・流行語大賞」トップ10受賞。中小企業庁「中小企業デジタル化応援隊事業」説明会講師ほか、IT活用セミナー等多数。ITに関する中小企業からの相談実績は累計4,000件以上。

受講までの流れ

お申込み

受講準備

講座開始

お申込みはDX学校のWEBサイト(<https://dx.school/>)、
またはお近くのDX学校へお問い合わせください。



DX学校® データ・ドリブン講座
体験動画公開中
今すぐ動画をチェック



スマートフォンで
QRコードを
読み取ってください。